

# グラフで見るインド経済 2022年5月号(No. 149)

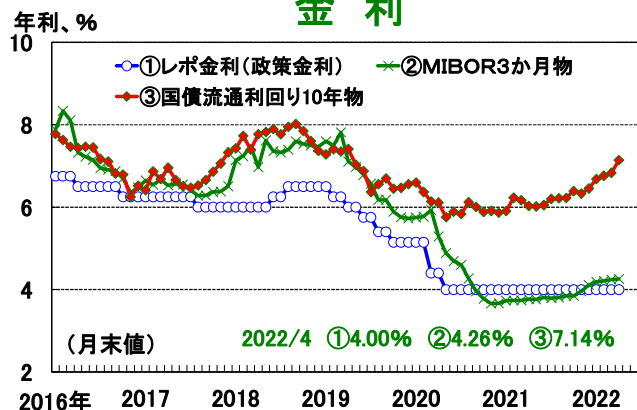
インドの景気は、下振れ圧力が強まっている。3月のコア産業生産指数は前年比+4.3%と増勢を弱めた。石炭在庫の減少を背景とする電力不足が企業の生産を阻んでいる。同月の輸出も同+19.8%と3か月連続で減速した。一方、3月の消費者物価指数(CPI)が同+7.0%と3か月連続で金融当局のインフレ目標値の許容上限(6.0%)を上回るなど、インフレ圧力は強まった。この状況下、インド中銀は5月4日に主要政策金利の引き上げなどの金融引き締め策を打ち出した。こうした金融引き締め策がインド景気に新たな下振れ圧力を与えることになろう。

### 【足元の景気判断】

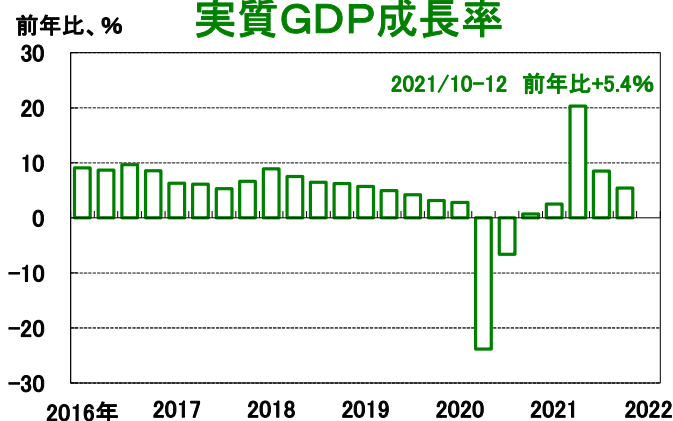
指標	景気全般	輸出	新車販売	コア産業生産	製造業PMI
判断結果	➡	⬇	➡	➡	➡

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

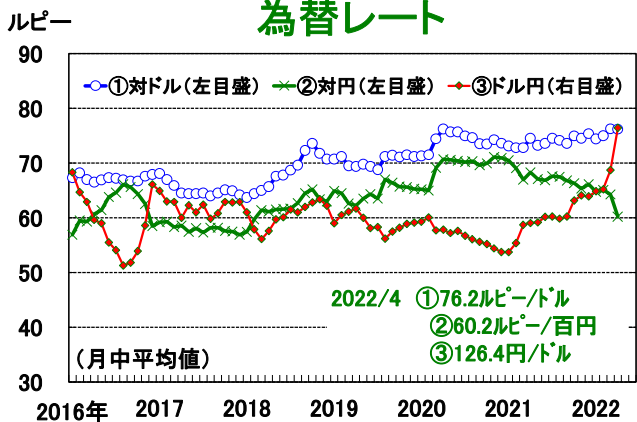
## 金利



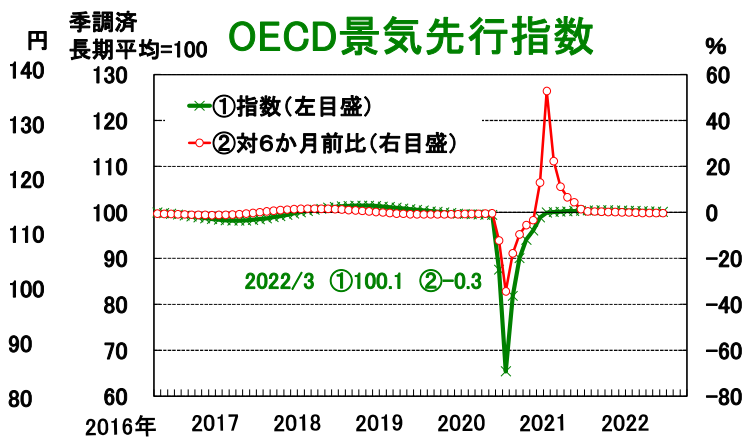
## 実質GDP成長率



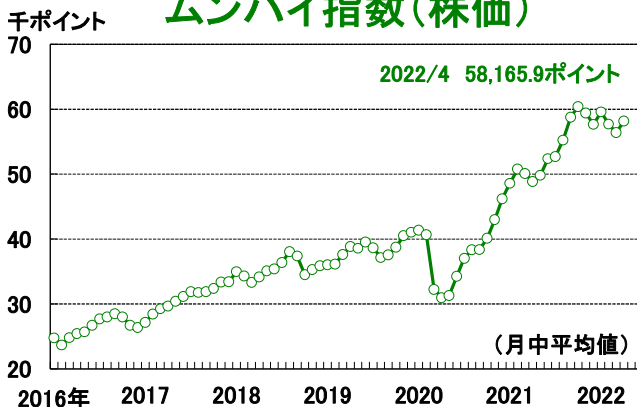
## 為替レート



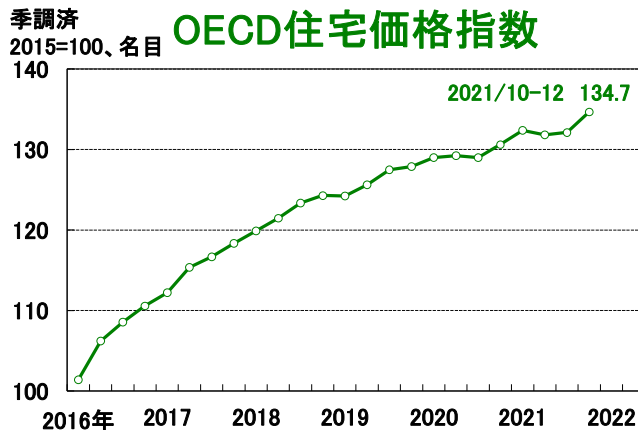
## OECD景気先行指数



## ムンバイ指数(株価)



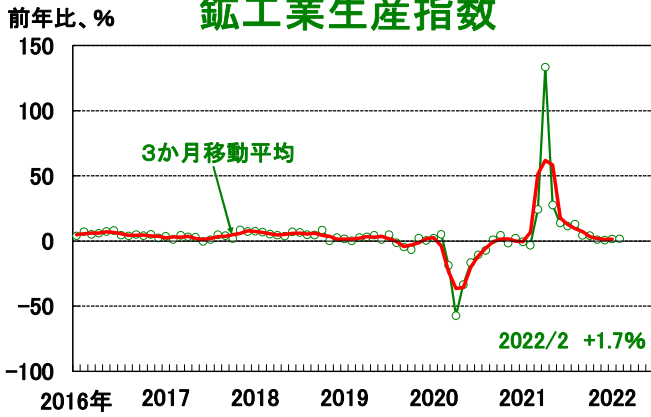
## OECD住宅価格指数



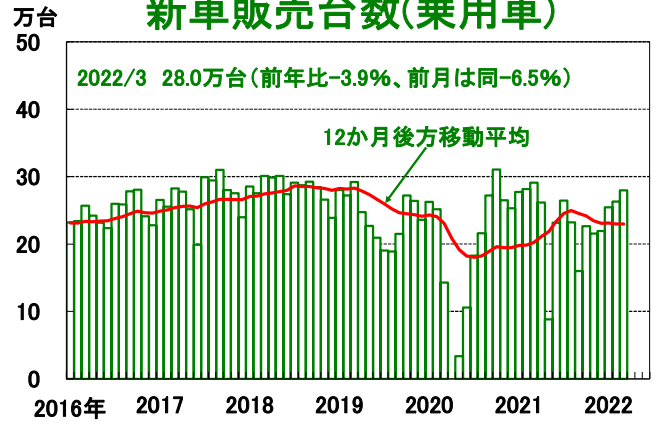
(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

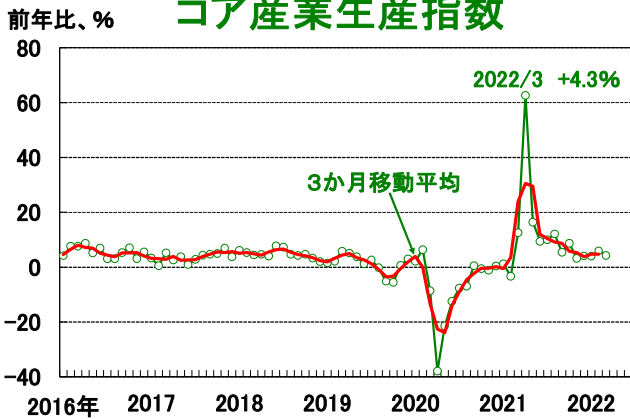
### 鉱工業生産指数



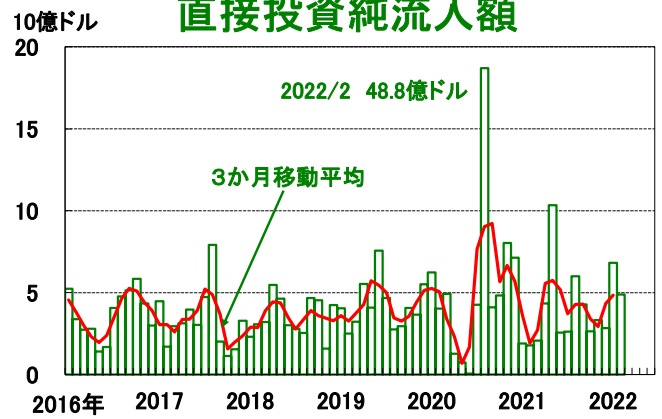
### 新車販売台数(乗用車)



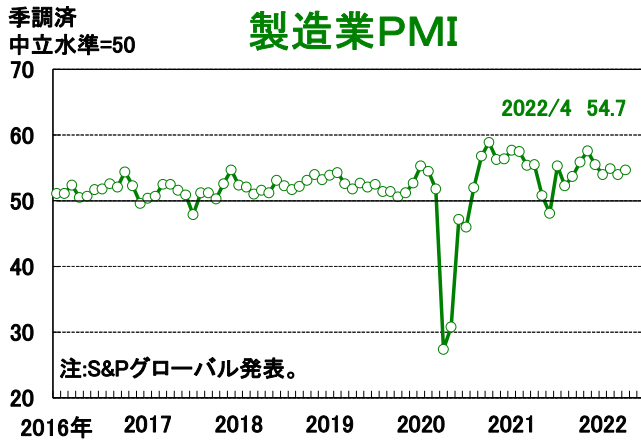
### コア産業生産指数



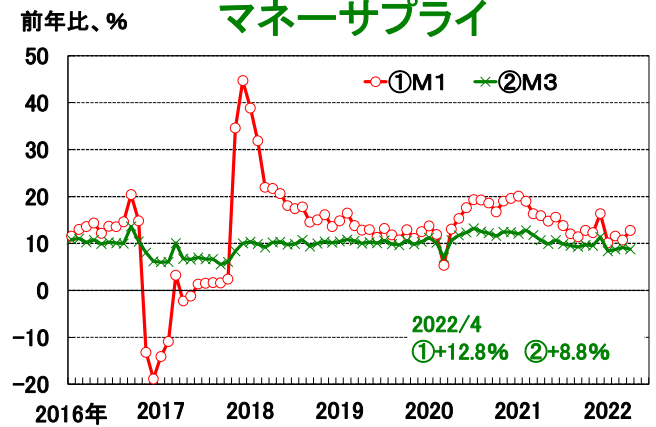
### 直接投資純流入額



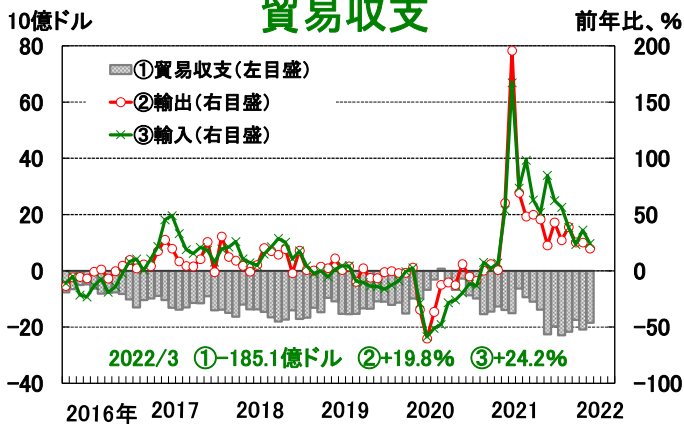
### 製造業PMI



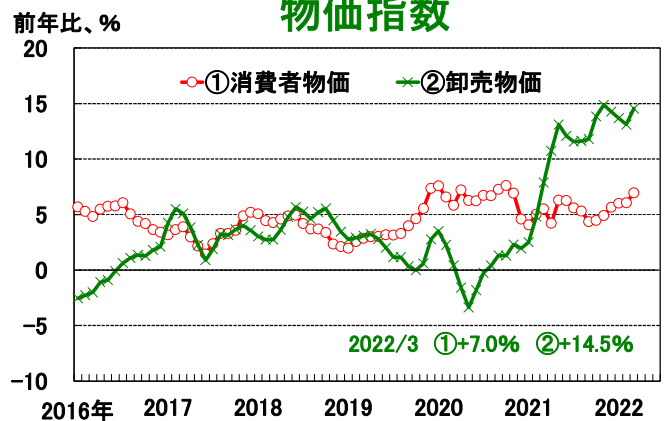
### マネーサプライ



### 貿易収支



### 物価指数



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。